

# 指定管理者記入用

## 指定管理者評価シート(自己評価)

所 管 課	市民環境部文化・観光・スポーツ課
評価対象期間	平成30年4月1日～31年3月31日

### 1 指定概要

施設概要	名 称	市内文化施設 川西市みつなかホール 川西市文化会館
	所 在 地	川西市小花2-7-2 (川西市みつなかホール) 川西市丸の内町5-1 (川西市文化会館)
	設置目的	芸術・文化の振興に関する事業等を行い、心身ともに健全な市民の育成及び個性と魅力あふれる地域文化の創造に寄与することを目的とする。
利用料金制		<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">非利用料金制</span> ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制
指定管理者	名 称	(公財)川西市文化・スポーツ振興財団
	所 在 地	川西市火打1-1-4 総合体育館内
指定管理業務の内容		<p style="text-align: center;">指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>芸術・文化施設の設置目的を達成するための事業の実施に関する業務</p> <p>芸術・文化施設の使用の許可、使用の制限、使用許可の取消等に関する業務</p> <p>芸術・文化施設の使用料の収納並びに減免及び還付に関する業務</p> <p>芸術・文化施設の特別の設備等の承認に関する業務</p> <p>芸術・文化施設の入館の制限及び立入調査に関する業務</p> <p>芸術・文化施設の施設及びその付属設備の維持管理に関する業務</p> <p>その他芸術・文化施設の設置目的を達成するため市長が必要と認める業務</p>
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日 (文化会館は平成30年9月30日まで)

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A
事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A
利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	A
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	A
<p>【所見】</p> <p>事業計画に基づき、ベストクラシックス、オペラ、ファミリー向け事業、こころ街シリーズ等の事業運営を引き続き適切に行っている。利用促進については、施設利用者に安全で快適な環境を提供するとともに、施設見学時や催物打合せ時に丁寧な対応に努め信頼関係を構築し再利用の促進を図っている。広報活動では、月々の「アンサンプル」発行と年間の事業を掲載した号外（市内全戸配布を実施）を作成した。新聞折込は、市内全域だけではなく近隣の猪名川町、豊能町、池田市等でも実施した。「ホームページによる情報提供と発信」では、ホームページとfacebookの2本立てで情報発信を行い事業関係の情報だけではなく出来事や季節の便りなども提供し、既読数の確保に努めている。</p>	
<p>【改善項目】</p> <p>文化会館から移行した市の新たな文化・福祉等の拠点となるキセラ川西プラザのオープンに伴い、式典、オープニング・イベントから11月～12月に実施した市民参加のオープニングフェスティバルまで一連の行事に運営スタッフとして参加するなど、新施設を含めた一体的な文化事業の企画を行った。</p>	
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A
施設の目的に則って、有効に活用（利用）されていたか。	A
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	A
<p>【所見】</p> <p>ベストクラシックス、オペラ、ファミリー向け事業、伝統芸能、こころ街シリーズ及び新規事業等多彩な事業を展開し、集客増加を図る努力を行っている。文化会館は、大阪府北部地震に伴い利用を中止し平成30年9月30日をもって閉館したが、みつなかホールは昨年に引き続き76%を超える高水準の利用率を保っている。文化芸術事業は、参加者の数だけで評価するものではないが、新たなキセラホールでのオープニング事業も含め24事業32回7,835名の参加者があった。（昨年度21事業28回6,472名）</p>	
<p>【改善項目】</p> <p>施設の利用率アップに向け、川西市以外の猪名川町、豊能町、池田市等への折込広告の実施や新規施設（キセラ川西プラザ）へのパンフレット立て増設（チラシ設置）を行うなど広報活動を拡充し、7千人を超える参加者を得た。</p>	
(3) 利用者の満足度	A
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	A
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A
<p>【所見】</p> <p>苦情対応については、毎朝及び月初ミーティングでスタッフ間の情報の共有を図るとともに適切な対応を行っており、利用者からも理解を得ている。従来より実施の施設利用者からのアンケートに対し、可能な要望は応じており、おおむね満足の評価をいただいている。来館者等の要望は、可能な限り取り入れ、時代のニーズに沿った対応を行っている。日常的にスタッフのミーティングを行っており、情報の共有化を図りながら運営を行っている。また、消防・避難・救急・救命訓練や人権・接遇研修などの実施を通して安全安心な施設運営を担えるスタッフの育成を行っている。</p>	
<p>【改善項目】</p> <p>利用者からの要望等により、ホール楽屋3の手洗の給湯化及び楽屋給湯室電熱器をIH器具に更新した。スタッフ育成のため、引き続き接遇、障がい者や高齢者への対応等の実務研修を実施する。</p>	

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A
(1) 経費の節減	A
<p>施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。</p>	A
<p>指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。</p>	A
<p>【所見】          利用者に安全・安心で快適な環境で施設を利用していただくことをモットーに管理運営している。30年度も電力デマンド監視装置を基に可能な限り電力の消費を抑えるとともにホール1階～3階の天井照明のLED化を実施した。外部委託については、引き続き競争の原理を踏襲し、清掃・警備等委託契約に係る仕様書を詳細に作成して見積もり合わせを行い、最小の経費で最大の効果が図れるように努めている。</p>	
<p>【改善項目】          ホール舞台及び客席以外の節電は継続して実施した。ホール1階～3階の天井照明をLED化することにより、消費電力及び経常経費の軽減を図った。</p>	
(2) 収入の増加      利用料金制を採用している場合のみ評価	評価なし
<p>収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。</p>	
<p>【所見】  記入不要</p>	
<p>【改善項目】  記入不要</p>	
(3) 収支のバランスなど      利用料金制を採用している場合のみ評価	評価なし
<p>収支のバランスが適切であったか。</p>	
<p>経費の効果的、効率的な執行が行われたか。</p>	
<p>収支の内容に不適切な点はなかったか。</p>	
<p>【所見】  記入不要</p>	
<p>【改善項目】  記入不要</p>	

評価項目及び評価のポイント		評価レベル
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み〔適正性〕		A
(1) 管理運営の実施状況		A
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。		B
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。		A
施設の維持管理が適切に行われたか。		A
指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。		A
〔所見〕 閉館時間が13時間と長時間になるため、貸館状況を考慮し、勤務シフトにより文化会館及びみつなかホール間で合理的に職員の勤務態勢を整えた。平成30年度においては、年度途中での正規職員の退職があり、欠員補充するための採用試験を行うも適任者不在のため採用に至らず、臨時職員での対応となった。引き続き接遇・人権研修や消防・避難・救命訓練を実施するほか、川西市外郭団体3法人共同の職員研修会、公立文化施設協議会主催の業務関連研修会、情報交換会などにも積極的に参加している。軽微な修繕などはその都度職員が対処し、経費の削減を図っており、日々の点検・整備の実施により常に安全・安心で快適な施設を提供できるよう努力している。ホールロビー照明のLED化や楽屋の給湯器、IH機器の導入など新規実施した。		
〔改善項目〕 給湯器の導入により、楽屋手洗いの温水化を実現、また、給湯室の電熱器(沸騰まで時間がかかっていた)をIH機器にするなど、常に利用者の目線で改革改善を心掛けている。		
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		A
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。		A
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。		A
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。		A
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。		A
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。		A
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。		A
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。		A
〔所見〕 ホームページやFacebookでは季節の便りなど提供するとともに近隣の猪名川町、豊能町、池田市等にも新聞折込広告を行った。年間情報誌の市内全戸配布や新たな施設(キセラ川西プラザ)にもパンフレット立てを設置し積極的に広報活動を行っている。個人情報については、財団規定に基づき漏洩のないようミーティング等で徹底している。施設の不具合は早急に対処するとともに、川西市主管課に報告、相談を重ねている。特に舞台機構の運転については、反復指示を徹底するなど安全対策を講じている。総合監視盤を含め保守点検を実施するとともに災害時に迅速に対応できるよう緊急連絡網を整備している。非常災害時に迅速かつ適切に対応できるように、消防・避難・救急・救命訓練を行っている。文化情報ロビー等共用部分については、独占使用されないよう定期的な巡回を実施している。公開抽選を行い公平公正に貸館を行っている。		
〔改善項目〕 情報発信について広報コーナーの拡大を行った。		
<b>総合評価</b>		
〔所見〕	評価ランク	A
地域住民の幅広いニーズにこたえられるようアンケートを実施し、利用者の要望に可能な限り対応している。施設維持管理に関しては、節減等に努め、生じた不用額を施設修繕費に充当しており、楽屋3の手洗い温水化や給湯室のIH化など利用しやすいホールを目指し努力した。なお、みつなかホールも22年を経過し、電気・空調設備、内外装設備等大規模改修が必要な時期となっており、来館者が安全・安心で快適に利用したいだけるよう今後も川西市へ報告、要望を行っていく。みつなかオペラ・ベストラジックス他自主事業では、非常に高い評価を受けており、内容の充実とオンラインの事業が実施できた。地域貢献としての学校・老人施設等への芸術家派遣事業では、優れた芸術を間近で感じることができるよう活動内容の質を維持し、派遣先では非常に感謝された。また、地域文化団体とも密接な関係を保ち、地域を主体としたアートマネージメントを堅持できた。接遇等の職員研修を実施するとともに他施設の職員との交流に積極的に参加し、情報交換を行うなど職員の文化スキルアップを行った。今後も市民の文化向上に寄与できるよう安全・安心な施設管理はもとより良質な舞台芸術の提供に努めます。		
〔改善項目〕 市民により良い舞台芸術の観賞や発表の場を提供するとともに、施設が安心・安全で快適に利用できるようあらゆる分野で創意工夫を行い、できる限りの改善を行った。		